

年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては穏やかな新春をお迎えのことと、お慶びを申し上げます。

また、旧年中は当シルバー人材センター（以下、センターと記載）に対しまして市民の皆様をはじめ、神栖市行政当局、市内の各事業所、そして関係各位の皆様のご支援とご協力を賜りまして、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染状況につきましては、令和2年の年明け早々からの感染は昨年も収束せず、昨年の2月には第6波、8月には第7波と国の発表があり、そして12月は新規感染者の方は増加傾向です。会員の皆様におかれましては、今後も感染予防の実施をお願い申し上げます。

センターにおきましては、昨年は一昨年のような一部ではありますが委託業務の停止はございませんでした。ただ、独自事業につきましては、本所・支所の毎月の刃物研ぎ活動を除き、独自事業活動とボランティア活動の大幅なる縮小を致しました。同ウイルスの感染につきましては一日も早く収束をし、センター全ての各種活動の再開が出来ます事を心より願いたいと思っております。

我が国の高齢者の方の人口は、国の総人口が減少する中で、65歳以上の方は3,627万人（総務省統計局・令和4年8月1日の概算値）となり、総人口に占める割合も29.1%と超高齢化社会が進展しております。

このような中、センターは高齢者の皆様が健康で元気で働く意欲を持たれ「生涯現役社会を実現」を進めるうえでの、重要な課題になっていると考えます。これまでも「自主・自立・共働・共助」の理念の基に歩んで参りましたが、今後もその理念を果たして行く事が重要と考えております。

そして会員の皆様同志が助け合いながら楽しく働き、地域の皆様から愛され元気で明るいセンターを目指して参りたいと思っております。

結びに、センターは「高齢者の皆様が仕事をする事による生き甲斐の場・健康増進の場・仲良しお友達づくりの場・地域社会への貢献の場」へと、更なる活性化の場となるべき組織を目指したいと考えております。

ここに会員の皆様の益々のご健勝・ご健康をお祈り致しますとともに、センターの運営につきまして一層なる、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

理事長 竹内 利夫



会員のひろば

「話の屑籠」

このほど、広報委員会の方からコラムの依頼をされた時、新型コロナ感染症やロシアによる他国への理不尽な侵攻の文字は止めようと思いましたがシルバー人材センターの事務所に4月からウクライナを支援する募金箱が置かれ、会員さんから多くの義援金が寄せられました。2011年3月11日の東北地方大津波では8000kmも離れたウクライナより多数の救援物資が送られてきたことは忘れられない記事でした。

私は東京で家内共々商店街に新たに店を立ち上げ、商いに励み酒類、タバコ米穀と次々免許を取得、店も30数坪に広げ食料品や雑貨全般を扱うようになりました。65歳を契機に線引きし店舗をクローズ。縁あって神栖市にソフトランディング（軟着陸）。初めは徒手空拳で知り合いも有りませんでした。ご近所さんからは暖かく迎え入れて頂き人生の再スタートを切ることが出来ました。今年で13年、その間シルバー人材センターに職を得て仕事は日々の生活のリズムを作るには丁度良く、生活にONとOFFができ毎日が曖昧にならず良い労働時間で納得しております。家内もグラウンドゴルフに興味を見つけ、お仲間と楽しんでおります。

東京での住まいは西武新宿線の東伏見駅から近く、早稲田大学の野球部、ラグビー部、テニス部、馬術部など多くのスポーツグラウンドや学生寮が点在し学生さんが群れていました。ある時、居酒屋でラグビー部の顧問や寮長と知り合いになり以後、暇を見つけてはグラウンドに足を運び練習を見学、25年ほど前のことで土ほこりの中、連中はタックルに明け暮れていました。その当時の早稲田は強くある年、明治大学との優勝戦が国立競技場で1月にありキャプテンから1等席のチケットを頂き家内共々応援、まさに胸躍る1戦でした。以後、ラグビーファン!! 2019ワールドカップ東京大会は私の大好物、強豪のスコットランドや3か国をなぎ倒し1次リーグを突破しました。ビデオ撮りしたのを今でも見直しております。プロ野球やサッカーはあまり好まず、Jリーグのテレビ放映もそれほど興味は持ちませんでした。

2022サッカー WORLD CUPカタール大会では強豪を連破し私にもわかファン! あの知力、体力、駆け引きに釘付けとなり、テレビ各局を総なめに見てはスポーツの力に感動しました。

「老いるショック」

人口の高齢化が進み「世の中の役に立たない」、「生産性や価値のない存在」と老いは隅に追いやられる。今を振り返ると今年で6巡目の干支を過ぎ80歳を超えました。

俺を見捨てて世の中がどんどん変わっていく、せめて本でも読んで縋りつくしかと脳のエクササイズとして暇を見つけては図書館通いです。しかしながら、半年前に読んだ本をまた借りてきたり子供や孫の誕生日を誤ったりです。

3年前、膝に違和感がありレントゲン検査では異常なし。ドクターからは運動不足と言われました。以降、神之池を週2～3回、1周4.5kmを歩き始めました。池には水鳥が浮き、3000本近い樹々の四季を楽しみ1時間はすぐに経ちます。今では膝の痛みも無く歩くことの大切さを実感しております。

日本経済新聞に時間をかけ隈なく目を通したりで老いに抵抗しながらも、今を楽しみ日々の生活に支障がきたさぬように、これからは第2の老いるショックには大きく構えて、油絵に筆を染めたり、野菜作りにも強い芯を持ち続けていこうと思っております。

（知手：安澤 宏介）



新年 安全祈願



令和5年1月5日（木）竹内理事長、宮本常務、野口局長はじめ安全適正就業推進委員、事務局職員で、息栖神社にて安全祈願をまいりました。

当センターで発生が多い3つの事故、◎草刈作業中による飛び石事故 ◎就業中の転倒による事故 ◎就業途上における交通事故について、今年は事故発生ゼロを目指して取り組んでいきたいと思います。

趣味のひろば

私の趣味探し

二十年程前の事です、会社を定年退職し「さあ、これからは自分の趣味を生かして楽しい老後を送るぞ。」と意気込んでいました。しかし、考えて見ると私の趣味ってなんだろうと、ふと思い悩んでしまいました。これまで、何かを楽しみ没頭したことがあっただろうか。それから、私は新しい自分を発見出来るかも知れないと思い、手当たり次第に色々な事に挑戦しました。

まずは陶芸、それから社交ダンス、フラダンス、ヨガ、卓球までその他いろいろ自分らしからぬ事もたくさん体験しました。知人、友人もたくさん出来、楽しい日々を過ごすことが出来ました。ところが年を重ねるとだんだん若い人について行けないと感じる様になったのです。

そんなある日、仕事先で昼食を食べている時、「家の片付けで着物等、古い物を捨てるのは勿体ないし何かに再生出来ないかしら」と言う話になり会う度に色々な案を話し合っていました。そしてある日、その人が友人から貰ったと言う小さなポーチを見て、こういうのを作りたいね、作れたら良いねと話が盛り上がりました。ほかに、そう思っている人が沢山いるかも知れない、そんな仲間が集ったらきっと楽しいね、やってみたいと意気投合し同好会を発足させるべく、動き出しました。人員集めをしてシルバー事務局に相談・アドバイスや援助を頂きながら既に同好会を運営している、他のシルバー人材センターを見学し参考にさせて頂きました。

そして平成20年8月、総勢5名で神栖市シルバー人材センター手芸同好会が発足しました。その時の事務局からの言葉「やってみなければ、何も始まらないよ」と言う後押しの一言を今もずっと心に刻んでいます。

同好会は発足しても講師は居らず、自分達の出来ることを持寄っての運営でした。本を頼りに頑張ってみたものの、やっぱり基礎を学ばなければと手芸教室にも通い少しずつ力をつけて来ました。



そのうち、神栖フェスタにも参加する事が出来、私達の作品を大勢の人に喜んでもらい社会に少しでも参加出来る喜びも感じました。そして、私は手芸を生涯の趣味と定めて趣味探しを終了しました。

手先の作業、月2回の活動に皆、集って楽しく過ごす事「ボケ防止」に最高の趣味を見つけたと確信しています。

(日川：遠藤 日出子)

新入会員紹介

新しい仲間です。皆さんよろしくお願ひします。

◆6月～11月入会者 会員番号・氏名・地区名で記載 (入会順・敬称略)

3243 池田 照子 知手中央	3253 海老 幸枝 土合南	3262 濱崎 仁志 土合北
3244 柳武 和弘 深芝南	3254 村木 博 知手中央	3263 岩井 洋子 日川
3245 長島ひろみ 筒井	3255 吉川喜久江 土合西	3264 原田 一男 溝口
3246 日向 安彦 大野原	3256 岡田美致子 土合東	3265 山中 吉光 賀
3247 藤崎 高 大野原	3257 平川 秀子 若松中央	3266 小川 光一 大野原
3248 佐々木達也 神栖	3258 佐藤 弘子 海老台	3267 大橋美知子 高浜
3250 大柁 利一 太田	3259 立原 恵子 下幡木	3268 有川 栄子 南浜
3251 小瀧 清司 知手	3260 山田 博起 太田	3269 瀬谷 吉信 土合西
3252 細田 富雄 知手	3261 山田寿美枝 太田	3270 人見 美江 若松中央

息栖神社で元旦祭

2023年1月1日、朝9時30分から、息栖神社で鹿島灘太鼓が披露された。

気温3度と寒い中、神聖な息栖の森に、力強い太鼓の音が響き、初詣に来た参拝客は、足を止め聞き入った。

家内安全、無病息災で有ります様に。太鼓の音を聞きながら、手を合わせた。

(記事：杉原 悟委員)



編集後記

新年、明けましておめでとうございます。
コロナ渦になり早3年、4年目に入ります。様々なイベントが中止になり、昨秋から少しずつコロナ前の活気に近づくかと思いましたがまた、コロナ感染者が増加傾向にあります。初詣や年始のイベント等に外出したいと思いますがここは我慢、我が家で工夫し家族の絆を深められ楽しく過ごされるのも良いかと思ひます。会員の皆様方には、原稿を頂きご協力して下さい心より感謝申し上げます。

本年も紙面作りに奮闘してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



お知らせ

●未就業会員の皆さまへ

センターでは、剪定・草刈・除草・障子張りなど会員を募集しています。また事務局には「就業情報」も掲示してありますので、事務局まで気軽にお声をかけてください。

「就業情報」はホームページでも公開中です。

<http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>

●就業会員の皆さまへ

就業報告書は、配分金計算の都合上毎月翌月の5日必着をお願いしていますが、遅れて提出される方が多数見受けられます。就業終了後は、早めの提出をお願いいたします。